

Senriyama

千里山建築会会報

第 28 号 2018 年 3 月 20 日発行

千里山建築会

〒 564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

関西大学環境都市工学部建築学科内

TEL : 06(6368)1121 (代表)

FAX : 06(6368)0093 (建築学科共通)

Contents

会長挨拶	(北野幹夫)	1	事務局から	
卒業生の活躍	(才本謙二)	2	会計・事業報告	4
建築学科の近況			お知らせ	
教室だより	(大影佳史)	3	(スプリングフェスティバル懇親会・HP・総会)	4
建築学科 50 周年報告	(河井康人)	3	編集後記	4

会長挨拶

北野幹夫 (10 期)



千里山建築会会員の皆様、こんにちは。会長の北野幹夫です。皆様には日頃より本会活動にご支援、ご協力いただき深く御礼を申し上げます。また今春、大学を卒業、大学院を修了された皆様には、ご卒業の祝辞を述べさせていただきます。

さて、2014 年 4 月第 9 回総会で会長に選ばれてから、4 年になろうとしています。これまでの活動では、千里山建築会の会則にある「会員相互の親睦を図ると共に、建築に関する学術・技術の進歩発展に寄与すること」の一助となるよう、先生・役員の方々のお力を借り、企画を行ってきました。主なものとしましては、1 つ目は年度はじめごとに会員間の交流の場であるスプリングフェスティバル（伊藤淳志教授のエジプト遺跡に纏わる「ここでしか聞けない話」など）。2 つ目は卒業式での優秀学生の表彰（大阪府建築士会による優秀学生への同会会長による表彰状の授与）、3 つ目は会員による在学生むけに設計事務所等への就職に役立つハウツー講座。4 つ目はまちを楽しむまち歩きイベント（上町台地である四天王寺・夕陽丘の 7 坂巡り、高槻キャンパス見学と富田界隈の酒蔵・寺社散策）。5 つ目は活躍されている会員による学生むけ講演会、6 つ目はより懇親を深める会（要するに飲み会）などを実施しました。

建築学科の大きな出来事としては、昨年 4 月に創設 50 周年を迎えました。先生方により 50 周年記念行事実行委員会が設立され、千里山建築会もご協力し、2017 年 4 月 29 日に 100 周年記念会館において式典が行われました。参加は 200 名を超え、名誉教授永井規男先生の「関西大学 38 年の教員生活を振り返る」と題したご講演や、3 期の馬場正哲さんから、卒業後の人との出会いやコンサルタントとしての地域計画研究に関するお話がありました。後半の祝賀会では、先生を取り囲んだ輪、同期・ゼミ仲間の輪があり、話は途切れません。私は恩師や建築研究会の先輩後輩、さらに 37 年間会ったことがなかった同期の学友とも話げできました。8 人出席したメンバー（写真に示すおっさん達です）は、欠席だった同期に声をかけ「拡大同窓会」を企画し、後日、すぐに実現

しました。盛り上がった祝賀会はあっという間で、祝賀会のあとは、皆さんが好きなグループを作って 2 次会に三々五々向かいました。

50 周年は一つの節目ですが、今後も 10 年、50 年、さらに 100 年と建築学科は更なる進化を遂げるものと確信しています。関西大学千里山キャンパスは、大学キャンパスとして非常によくまとまっており、村野藤吾が設計した建築群は景観として価値があり、全国的にも有名です。建築学科の学生にとって、贅沢で自慢できる場で学ぶことは貴重な経験と考えます。また他大学は建築学科の名をやめてデザイン…学科など名称を変えるなか、建築学科という名前を大切にしていることは重要であると考えます。学科名が同じであることで、いつまでも自分の育った家があると感じます。建築学科の恩師の先生方に深く感謝致します。

一方で、今年度末で建築学科は、学士卒業生だけ数えても、延べ約 5500 人の社会人、研究者等を輩出していることとなります。千里山建築会はこの大所帯を母体とする会員組織であるため、郵便物の送付等に多大な費用がかかります。今後は情報発信や通信・連絡において、新しいホームページをフルに活用させて頂こうと考えています。

最後に、来る 4 月 29 日（日）に第 10 回総会が 100 周年記念会館において開催されます。新役員の人選も行う 4 年に一度の総会ですので、ぜひお誘いあわせのうえ、ご出席いただくようお願い致します。また、本会活動がさらに活発なものになりますよう、会員皆様におかれましては、卒業同期や研究ゼミの人の繋がり（これは財産です）を普段から密にして会員間のネットワークを広げていただきますとともに、本会企画への参画・参加など様々な形でご協力をお願いする次第です。



歴史が取り持つ地域と暮らしの再生

才本謙二 (才本建築事務所・10期)



何の変哲もない田舎町で、12年前に5人でスタートした小さなプロジェクト(PJ)は、様々な人々を巻き込みながら、丹波篠山(兵庫県篠山市)から全国へ広がりを見せています。文化財が活用に向かう文化財保護法改正など社会が大きく転換しつつあります、今後皆さんが歩む方向性の一助になればと思います。

私がこのPJに関わるきっかけは、23年前に発生した阪神淡路大震災で、多くの人命とともに貴重な歴史的建造物が姿を消した苦い経験のもと2002年に発足した歴史文化遺産の発見と保存活用提案が可能な人材(ヘリテージマネージャー:HM)を養成し、地域に即した活動を繰り返している「ひょうごヘリテージ機構」に参画したことです。当初歴史的建造物の保存が目的でしたが、最近は空き家対策や文化財を活用したまちづくりに寄与しています。

時を同じくして2004年秋、篠山で開催されたまちづくりセミナー終了後にまち歩きをした時に、売り出された空き家を見て、売れずに解体されると危機感を抱いた5人は、市場原理で残らない貴重な歴史的資産を後世に残すシステムを構築しようと考えました。早速部会を立ち上げ、約半年の議論の末考え付いた仕組みが「古民家再生プロジェクト」です。まず市民から資金調達し空き家を買取り、プロ(建築士、職人)の指導のもと市民ボランティアが改修工事を行います。結果、通常より低額で改修売却し、得た資金を次の古民家買取りの原資として運用するスキームです。PJはNPO法人町なみ屋なみ研究所(町家研)に引き継がれ、モデルの買取り再販のほかサブリース、移住者支援に起業支援、最近では、高齢者の居住者支援を行うなどバリエーションを増やしています。また参加者の中から町に愛着を覚え、移住や起業した人たちが多く生まれたことは、

想定外でした。

一方9年前に民主導の産業化を目指す一般社団法人ノオトが立ち上り、最初の取組みが世間に知られることになった宿泊施設「集落丸山」です。ひっそりと佇む民家が織りなす風景はまさに日本の原風景ですが、12戸中7戸が空き家の限界集落で、10数回に及ぶセミナーとワークショップを開催し、7戸のうち無償貸与に同意した3戸がオーベルジュにコンバージョンされ、日本の暮らしを体験する空間に生まれ変わりました。運営は、集落の住民がNPO法人を設立し、ノオトとLLPを結成し経営しています。里山体験プログラムが用意され、村民としての生活体験や村の年中行事に参加できます。魅力は、本能を刺激する自然環境や安らぎを与える暮らしがそこにあるからだろうと思います。今や2016年兵庫版ミシュランガイド旅館部門に掲載されるまでになりました。

「集落丸山」の改修工事は、PJに賛同する地元の工務店3社が行ないましたが、技の伝承も重要だと考え各工務店の若い職人たちを招集し、スキルアップを図りながら社会貢献するグループ「若匠」を立ち上げました。若匠は、町屋研が主催する古民家再生PJの指導役として市民と接することで伝達能力が増し、合せて社会的認知度を高めました。今後はこの活動をソーシャルビジネスとして確立し、職人の定住促進につなげたいと思っています。

我々のPJは、他の地域に持ち込んでも成功するとは限りません。必要なのは人々の情熱と創造力、シンパシー、実行する人の気概です。憧れだけで訪れた人や、安易な事業計画で出店した人たちは、数年で立ち去っています。そんな人たちに共通することは、キャリアを過信し田舎を軽視しているところでしょうか。我々のPJは60を超え、50名以上の移住者を受け入れることになりました。実は、古民家を残すことが目的だったPJは、空き家対策を実践していたことになり今や篠山は、移住や起業を志望する人々の憧れとなっています。ただいづれの場合もローコストでリノベーションする必要があり、少し工夫しています。いくつかのポイントをご紹介します。

- ・ 予算は新築の約半分坪30～40万円。改修は必要最小限度とします。
- ・ 古民家本来の良さを生かすことを旨とし、創建当時か建物が最も輝いた時代に戻します。



- ・水回りは清潔で最新機種を導入します。
- ・全館冷暖房は不可能です。一間逃げ込める部屋を造ります。断熱を含めた省エネは課題です。
- ・耐震補強も腐朽部材の取り換えや壁の増設など行いますが、まだまだ不十分なところがあり、制度利用や適正な耐震手法の検討が必要で、こちらも今後の課題としています。
- ・末期的症状に遭遇することがあり、建物の維持管理の適正化は、かなり重要です。
- ・事業者は、前述の通りしっかりとした事業計画の下改修を行います。
- ・空き家（古民家）愛し、活用してくれる人を見つけることも重要です。

注目を浴びる我々のPJは、「集落丸山」「竹田城下町ホテルEN」、「豊岡 1925」に引き続き、国家戦略特区の認定を受け、3年前から構想していた「篠山城下町ホテル NIPPONIA」を開業しました。城下エリアに点在する江戸から明治期創建の5棟の古民家を再生し分散型ホテルとして運営しています。城下町をホテルとしたことで点在する我々が関わったカフェやレストラン、ショップなどと既存店舗がホテルの施設の一部として利用されています。宿泊者は、城下を巡り篠山の文化や歴史に触れることになり、篠山活性化の役割を担うことになりました。また、特区の認定を受け旅館業法の規制緩和の下、帳場を一か所に集約して経営の効率化を図っています。ホテル運営は宿泊やブライダル事業を手掛けるプロに委託し質を保っています。資金調達に関しても、SPC(特定目的会社)を設立し、民や政府系のファンドからも融資を受けることができるようになりました。

12年前1棟の古民家から始まった小さなPJは、まちなみの魅力を高め、地域全体の活性へと広がってきました。中には古民家再生は単なるブームで効果は極小と批判的に評価する人もいます。しかし我々は、歴史的建造物を活用することで、日本人が培ってきた文化を守り発展させ地域の産業を創出し、まちの発展（存続）に繋がるものと考えています。これは篠山で10年に渡る試みから辿り着いた一例です。地域ごとに抱えて



いる問題と解決方法は異なりますが、空き家とりわけ歴史的建造物がハードの再生から地域とくらしの再生へと、多様な可能性をはらむ時代に入ったように思います。

建築学科の近況

教室だより

建築学科 教育主任 大影佳史

2017年度、建築学科教育主任を担当させていただいております。不慣れな点多々ございましたが、皆様のご協力をいただきこれまで何とか勤める事が出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。

建築学科の本年度の様子をご報告いたします。入学者につきましては、昨年4月に学部生115名、大学院生24名を迎え入れました。また、本年3月には、102名の学士、22名の修士、2名の博士を輩出する予定（見込み）となっています。

キャンパス内の様子としては、ここ数年で、2号館の中庭に4号館（教室棟）、図書館の東側に関西大学イノベーション創生センター、阪急関大前駅北口付近からの新アクセス通路、など新たな建設がありました。本年度も東体育館の建替工事が行われており、2018年3月には新体育館竣工予定となっています。現在仮囲いが取れ始めその姿が見えてきたところです。

学科の人事関係につきましては、本年度より、亀谷義浩先生が教授に昇任されました。

建築学科は昨年4月に創立50周年を迎え、記念式典等の様子は他にご報告のとおりです。皆様には、建築学科ならびに千里山建築会の今後の発展に向け、益々のご活躍をお祈り申し上げますとともに、今後とも、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



建築学科 50周年式典報告 河井康人(3期)



2017年4月29日（土、昭和の日）に開催致しました建築学科創設50周年記念式典及び祝賀会には、芝井敬司学長、池内啓三理事長、山本秀樹環境都市工学部長はじめ来賓の皆様方と170名を超える卒業生のご出席を頂き、盛大に式典を挙行することができました。ご多忙中にもかかわらず、ご遠方からもご出席頂くことができましたこと、同日に発行致しました記念誌に多数の寄稿を頂きましたこと、また、ご欠席されたにもかかわらず記念行事運営のためご支援を頂きましたことにこの場をお借り致しまして厚くお礼を申し上げます。

50周年は一つの通過点であり、建築学科の持続的な発展に向けてこれからも教育の充実・研究の進展に力を注いで参る所存ですので、今後とも関係各位のご支援やご助言を頂きたくお願い申し上げます。

なお、広報課により関西大学のホームページのトピックスに創設50周年記念式典の記事が掲載されております。併せてご覧頂ければ幸いです。

http://www.kansai-u.ac.jp/mt/archives/2017/05/50_4.html

事務局から

会計報告

平成 28 年度 (2016/4/1 ~ 2017/3/31)

収入の部	支出の部
繰越金 ¥2,209,458	卒業記念写真代 ¥44,200
SF 会費・寄付 ¥12,000	SF 懇親会費 ¥21,525
郵便局利子 ¥195	会報等発送用切手代 (2015 年度) ¥39,700
新規会員入会費 ¥23,000	会報等発送用切手代 (2016 年度) ¥26,978
	HP用サーバレンタル料 ¥16,200
	封筒印刷費 ¥23,760
	小計 ¥172,363
	繰越金 ¥2,072,290
合計 ¥2,244,653	合計 ¥2,244,653

繰越金明細

郵便普通預金	¥2,048,410
りそな普通預金	¥11,452
現金	¥12,428
合計	¥2,072,290

事業報告

平成 28 年度 (2016/4/1 ~ 2017/3/31)

4月4日	第1回幹事会開催 スプリングフェスティバル懇親会開催
6月29日	第2回幹事会開催
7月27日	第3回幹事会開催
3月18日	会報第27号発行
3月18日	卒業式にて新会員勧誘、卒業写真撮影

なお、会報、名簿の各担当者は随時各委員会を開催

お知らせ

1. スプリングフェスティバル時に懇親会開催！

本年4月8日(日)の関大スプリングフェスティバルに合わせ、14:00より建築学科第1会議室(第4学舎2号館研究棟5階)にて、恒例の懇親会と、懇親会の後キャンパス散策会を開催します。飲み物、スナックなどを用意しており(参加費千円、子供は無料)、ご家族、ご友人と花見がてらお気軽にお立ち寄りください。

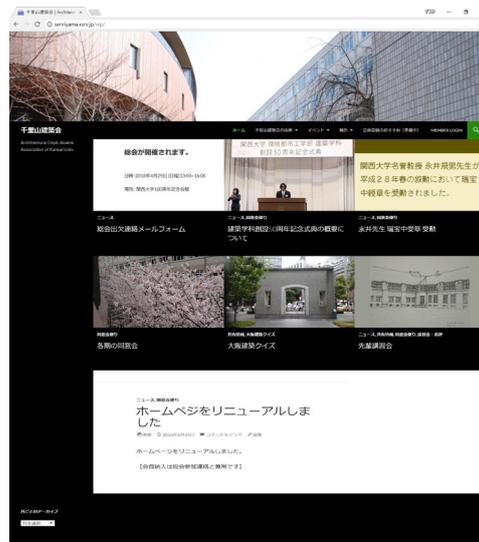
※予約は必要ございませんので、直接、建築学科第1会議室にお越しください。キャンパス散策、新たな体育館の見学などを予定しております。(会長:北野幹夫)

2. 千里山建築会のホームページリニューアル！

ニュース欄は画像をもとにビジュアル化したボタンで3×2段のタイル構成です。詳しくはそれぞれのボタンのクリックで詳細表示します。



固定的な内容についてはメニューにカーソルを近づけ表示されるメニューから選択してご覧ください。



新ホームページへのアクセス <http://senriyama.xsrv.jp/wp/>

「総会出欠メールフォーム」へは以下のQRコードまたはホームページ上の以下の記事をクリックしてご記入、ご連絡ください。PC、スマホどちらでもご記入いただけます。



総会が開催されます。

日時:2018年4月29日(日曜)13:00~16:00

場所:関西大学100周年記念会館

ニュース
総会出欠連絡メールフォーム

(13期:宮本昌彦)

《編集後記》

ここは千里山建築会の会報の場ですが、わたくしは高槻キャンパス配属2年目で、一人で高槻建築会(?)をしております。ので、勝手に(笑)高槻近況報告をいたします。

この緑豊かなキャンパスでは、大阪府森林組合のご協力により、関西大学高等部を対象とした森林環境フィールドワークが、昨年秋に行われました。このように、里山の景観が維持されているキャンパスですが、高槻市の西の山地の高台にあり、あまり人が来ません(泣)。千里山キャンパスに比べると、活気がない、もとい、落ち着いた雰囲気の高槻キャンパスですが、取り分け、生協onlyの食事環境は、学生・教職員の不満も多く、生協と改善協力を進める一方、キッチンカーを誘致することで、無機質なキャンパスを活性化させる、使いこなすといった取り組みを進めております。皆様からも、キャンパス活性化について何かヒントをいただきたらありがたいです!

(22期:市原淳)